反対の 事柄を 選ぶ ドリル①

中2／ドリル 項目8 ①（選ぶ）／目標 10分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・「起こらない確率・少なくとも」の 問題。くじ・玉・さいころ・硬貨は どの 結果も 同じ 程度に 起こる ものと する。
　大問1・3は、ア～エの 中から 選んで、その 記号を 四角に 書く。
・大問2は、文が 正しいか まちがいかを ○で かこむ。

大問1 反対の 事柄を 選ぶ

(1) 10円玉・50円玉・100円玉を 同時に 投げる。3枚を 区別して 数える。

「少なくとも 1枚は 裏が 出る」の 反対の 事柄を 選ぶ。 □

ア ちょうど 1枚が 裏に なる　　イ 3枚とも 裏が 出る

ウ 3枚とも 表が 出る　　エ ちょうど 2枚が 裏に なる

(2) 女子 2人と 男子 3人の 中から、くじで 代表を 2人 選ぶ。

「少なくとも 1人は 女子が 選ばれる」の 反対の 事柄を 選ぶ。 □

ア 2人とも 男子が 選ばれる　　イ 2人とも 女子が 選ばれる

ウ 女子と 男子が 1人ずつ 選ばれる　　エ 少なくとも 1人は 男子が 選ばれる

(3) 大小 2つの さいころを 投げる。

「少なくとも 一方は 偶数の 目が 出る」の 反対の 事柄を 選ぶ。 □

ア 2つとも 偶数の 目が 出る　　イ 少なくとも 一方は 奇数の 目が 出る

ウ 同じ 目が 出る　　エ 2つとも 奇数の 目が 出る

大問2 文の 正しさ

(1) 雨が 降る 確率が $\frac{2}{5}$ の とき、雨が 降らない 確率は $\frac{3}{5}$ である。　正しい　まちがい

(2) さいころ 1個を 投げて 6の 目が 出る 確率は $\frac{1}{6}$ だから、6の 目が 出ない 確率も $\frac{1}{6}$ である。

正しい　まちがい

(3) 硬貨を 3枚 区別して 投げる とき、「少なくとも 1枚は 表」の 確率は「ちょうど 1枚が 表」の 確率と 同じ である。

正しい　まちがい

(4) 赤玉 2個と 白玉 4個から 同時に 2個 取り出す とき、「少なくとも 1個は 赤玉」の 反対の 事柄は「2個とも 白玉」である。　正しい　まちがい

大問3 反対の 事柄の 場合の数

大小 2つの さいころを 投げる。

「少なくとも 一方は 6の 目が 出る」の 反対の 事柄の 場合の数を 選ぶ。 □

ア 5通り　　イ 10通り　　ウ 25通り　　エ 30通り

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「確率」のプリント一覧がひらきます

反対の 事柄を 選ぶ ドリル①【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／ドリル 項目8 ①（選ぶ）／目標 10分

大問1 反対の 事柄を 選ぶ

(1) 10円玉・50円玉・100円玉を 同時に 投げる。3枚を 区別して 数える。

「少なくとも 1枚は 裏が 出る」の 反対の 事柄を 選ぶ。 **ウ**

ア ちょうど 1枚が 裏に なる　　イ 3枚とも 裏が 出る

ウ 3枚とも 表が 出る　　エ ちょうど 2枚が 裏に なる

(2) 女子 2人と 男子 3人の 中から、くじで 代表を 2人 選ぶ。

「少なくとも 1人は 女子が 選ばれる」の 反対の 事柄を 選ぶ。 **ア**

ア 2人とも 男子が 選ばれる　　イ 2人とも 女子が 選ばれる

ウ 女子と 男子が 1人ずつ 選ばれる　　エ 少なくとも 1人は 男子が 選ばれる

(3) 大小 2つの さいころを 投げる。

「少なくとも 一方は 偶数の 目が 出る」の 反対の 事柄を 選ぶ。 **エ**

ア 2つとも 偶数の 目が 出る　　イ 少なくとも 一方は 奇数の 目が 出る

ウ 同じ 目が 出る　　エ 2つとも 奇数の 目が 出る

大問2 文の 正しさ

(1) 雨が 降る 確率が $\frac{2}{5}$ の とき、雨が 降らない 確率は $\frac{3}{5}$ である。 **正しい** まちがい

(2) さいころ 1個を 投げて 6の 目が 出る 確率は $\frac{1}{6}$ だから、6の 目が 出ない 確率も $\frac{1}{6}$ である。

正しい **まちがい**

(3) 硬貨を 3枚 区別して 投げる とき、「少なくとも 1枚は 表」の 確率は「ちょうど 1枚が 表」の 確率と 同じ である。

正しい **まちがい**

(4) 赤玉 2個と 白玉 4個から 同時に 2個 取り出す とき、「少なくとも 1個は 赤玉」の 反対の 事柄は「2個とも 白玉」である。 **正しい** まちがい

大問3 反対の 事柄の 場合の数

大小 2つの さいころを 投げる。

「少なくとも 一方は 6の 目が 出る」の 反対の 事柄の 場合の数を 選ぶ。 **ウ**

ア 5通り　　イ 10通り　　ウ 25通り　　エ 30通り

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 答えは (1) ウ (2) ア (3) エ。「少なくとも 1つは～」の 反対は「1つも～ない」。「ちょうど 1つ」「1人ずつ」などは 反対の 事柄ではない。

大問2 (1) 正しい。(2) まちがい（正しくは $\frac{5}{6}$）。(3) まちがい（$\frac{7}{8}$ と $\frac{3}{8}$ で ちがう）。(4) 正しい。

大問3 答えは ウ。6が 1つも 出ない 組は 5 × 5 = 25通り（36通りから 11通りを ひいても 同じ）。

いちごドリル プリント